

# 東山

栃木市立大平東小学校  
学校だより 第10号  
令和8年2月5日  
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 かしこく なかよく たくましく

## 伝統の「東小ふれあい音頭」

大平東小の伝統の一つに、運動会の全校種目になっている「東小ふれあい音頭」があります。

5・6年生がおはやし演奏、歌、笠踊り、石投げ踊りをし、1～4年生は手踊りで踊ります。

今回は伝統の「東小ふれあい音頭」について、保護者の方、地域の方にもご紹介いたします。

資料によると、本校のおはやしは昭和57年(1982年)頃に始まったようです。栃木県で有名な民謡「日光和楽おどり」の音楽と踊りにのせて、当時の東小に合った歌詞をつけて演奏したのが始まりだそうです。歌詞は、当時の東小の子供たちから募集して決めたようです。始まった頃は、10番以上歌詞がありましたが、現在は5番までが代々受け継がれて演奏されています。

「東小ふれあい音頭」は知っていても、歌詞までは詳しく知らなかったという方も多いのではないのでしょうか。私もそうでした。

子供たちに配っている歌詞カードは全てひらがな表記のものですが、今回は漢字に読み仮名をつけて載せてみました。

いかがでしょうか。よく考えたものですね。

「俺(おら)の学校の自慢を曲に合わせて教えてさしあげましょう！」と言うのです。威勢のいい始まりです。

最初の自慢は「東山」。

「春は新緑、秋は紅葉」は分かるとして、「子供が転がる東山」ときました。実にいい。お見事！

昔から東山で転がる子供たちがいたのですね。東山が子供たちにいかに愛されているのかが分かります。

「黄金の波」の意味を調べてみました。黄色く実った稲穂が風に揺れ、波打つように見える秋の情景だそうです。確かに本校の周りには、秋には「黄金の波」になります。実に見事な表現です。

エンディングは「学校の自慢はまだまだあるが…、さようなら～」ときました。粋な終わり方です。



おはやし



笠踊り



手踊りをする1～4年生

ひがししや おんど  
東小ふれあい音頭  
そ〜れ

- ハ〜 俺の学校の ハヨ〜ヨト  
自慢の種を 曲に合わせて コラショ アレッサヨ  
読み上げます ハーヨーイ ヨーイ ヨーイトナ
- ハ〜 春は 緑で ハヨ〜ヨト  
秋には もみじ 子供 転げる コラショ アレッサヨ  
東山 ハーヨーイ ヨーイ ヨーイトナ
- ハ〜 周り 見渡しゃ ハヨ〜ヨト  
黄金の波よ そこが 大平 コラショ アレッサヨ  
東小 ハーヨーイ ヨーイ ヨーイトナ
- ハ〜 おどり 花笠 ハヨ〜ヨト  
縦には 持たぬ 回す 手元が コラショ アレッサヨ  
かわいらしい ハーヨーイ ヨーイ ヨーイトナ
- ハ〜 本校 自慢は ハヨ〜ヨト  
まだまだ あるが またの 機会に コラショ アレッサヨ  
さようなら ハーヨーイ ヨーイ ヨーイトナ



黄金の波

# 伝統を受け継ぐ子供たち

「東小ふれあい音頭」が子供たちにどのように引き継がれているのかご紹介いたします。

5月の運動会前、入学して1か月ほどの1年生に6年生が手踊りの踊りを教えます。見本を見せ、一対一で手取り足取り、やさしく声をかけながら。



1年生に踊りを教える6年生



2月10日(火)には「おはやし引継ぎ式」があります。6年生が4・5年生におはやしを引き継ぐ式です。体育館で、1～3年生、教職員も見守る中で行われます。

この「引継ぎ式」に向けて、4・5年生は音楽の授業で練習をしています。

「いきいきタイム」の時間には、4～6年生が、それぞれの場所で自主的に練習をしています。6年生がやさしく丁寧に教え、4年生・5年生は素直に聞いて上達しようと前向きに取り組んでいます。

東門・西門で朝のあいさつをしていると横笛を持って登校する5年生・4年生がいます。「家で練習している」と言うのです。

昼休みに自主的に練習する子もいます。

伝統を受け継いでいこうとする意志が伝わってきます。

頼もしく感じます。

現在のおはやしで使用されている楽器は、大太鼓1つ、締太鼓3つ、あたりがね2つ、横笛10本、大づつみ6つ、小づつみ6つです。

壊れた楽器の修繕や購入費用には「栃木市特色ある学校づくり奨励補助金」を活用しています。

これからも大切に引き継いでいきたいと思えます。



音楽の授業で歌の練習をする4年生。最初は歌詞カードを見ながら。音楽室から校長室に力強い歌声が響いてきます。



6年生が4・5年生にアドバイス



横笛

◆地域や保護者の方から直接お声かけいただきました。

○「東山」1月号を読んで、改めて学校と地域のつながりについてよく分かりました。あのように学校と地域とのつながりについてまとめたものがあるといいなあと思いました。ホームページでもその都度紹介していただいているのですが、このように紙面で配付していただくとボランティアやPTA、おやじの会の方々も励みになると思えます。

○「東山」1月号を読んで、学校と地域でいろいろなつながりがあることが分かりました。「民生委員・児童委員の方との懇談会」というものを初めて知りました。

【校長より】読んでいただけるだけでもありがたいと思っておりますが、このように声をかけていただくと大変うれしく思います。学校と地域とのつながりについて、特集としてまとめることで、改めて「学校は地域・保護者に支えられているなあ」と実感しています。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思っております。「学校だより」やホームページ等へのご感想・ご意見をお寄せいただくとありがたいです。



横笛をランドセルに入れて持ち帰り、家でも練習する4・5年生

【お願い】地域や保護者の方で「東小ふれあい音頭」について、小学校の時の体験談や思い出など、おもちの方は、学校までお知らせください。歌が10番以上あった頃のことやこれまでの歴史などについてまとめたいと思っております。些細なことでもよいので、お願いいたします。